

容量性結合クランプ

CDN 8014 / CDN 8015

IEC 61000-4-4に適合

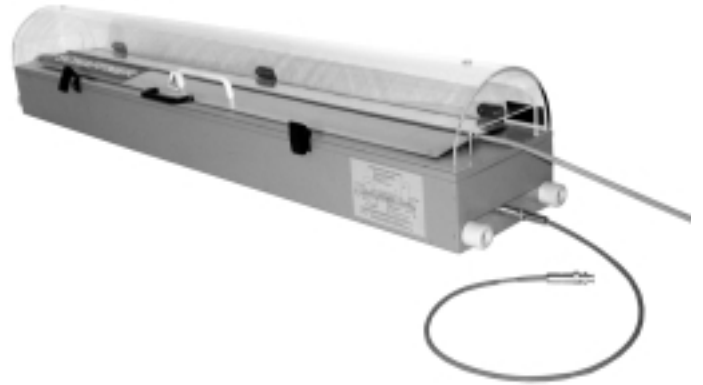
周辺機器インターフェイスポートの試験

結合ケーブルは主にファーストトランジェント、バーストノイズパルスを信号線 / データ線 (= 周辺機器へのあらゆる接続) に重畳するために使用されます。

IEC 61000-4-4規格ではまた、適当な減結合ネットワークを使用できない場合、容量性結合によりAC / DC電源線へパルスを重畳することを認めています。

結合クランプ ~ 挿入されたケーブル間の結合容量 (通常100pF) はケーブルの種類、直径、シールドなどの条件により変化します。CDN 8014/8015はあらゆる点において規格を満足しています。頑丈な構造により、試験所、現場を問わずに使用可能です。精密に設計されたジャーマンシルバー製の結合プレートは、つや出しの施された保護蓋付き木製ケース内に収納された形で供給されます。

レファレンスプレーンへの接地は、ケース両脇の接触プレートにより確実に行われます。



CDN 8015 : 安全インターロック機能付

CDN 8015は、安全のためのインターロック機能が搭載された結合クランプです。

シャフナーのバーストジェネレータやBESTシリーズ試験器と共に使用した場合、結合クランプとジェネレータの相互作用により、保護カバーが開いている間、高電圧パルスの出力が阻止されます。

技術仕様	CDN 8014 / 8015
アクティブな結合の長さ	1m
ケーブル / クランプ間の一般的な結合キャパシタンス	50pF ~ 200pF
ケーブルの直径	最大40mm
最大許容バースト電圧	8kV